

# がん化学療法レジメン登録書

(様式2) 1枚目

登録番号: 10-097

がん種/レジメン名		実施区分	適応疾患分類	抗癌剤適応分類			
手術不能又は再発乳癌 ロゼウス療法		点滴静注	日常診療 (治療)	進行・再発・転移癌			
1クールでの投与期間		21 日/クール		備考: アントラサイクリン系及びタキサン系抗悪性腫瘍剤による化学療法後の増悪もしくは再発例を対象とすること			
Day	投与順	薬品名 (成分名)	投与量	単位	溶解液・液量	投与時間	投与ルート
1, 8	1	ロゼウス	25	mg/m <sup>2</sup>	生理食塩液 50mL	5min	Div.
	2				生理食塩液 50mL	5min	Div.
	3				生理食塩液 100mL ※ロゼウスによる末梢静脈炎の予防のために血管内を洗い流す	15min	Div.

臨床症状の観察を十分に行った上で、使用が適切と判断される患者についてのみ投与すること。  
また、投与開始基準や投与基準を満たさない場合はリスクとベネフィットを考慮した上で投与の可否を判断

## 【投与開始基準】

※ロゼウス添付文書、JCO2005:35(6):310-315 より

項目	基準値及び症状
PS	0~2
白血球	≥ 4000/μL
好中球	≥ 2000/μL
血小板	≥ 100000/μL
Scr	≤ 1.5 mg/dL
T-Bil	≤ 2.0 mg/dL
AST、ALT	≤ ULN×2.5
慎重投与	
間質性肺炎又は肺線維症の既往歴	
神経・筋疾患の合併あるいは既往歴	
虚血性心疾患又はその既往歴	
強い便秘傾向	
高齢者	

## 【減量基準】 ※ナバルピンインタビューフォーム、JCO2005:35(6):310-315 より

ロゼウス:		
項目	基準となる値	ロゼウス
白血球減少	投与基準を満たさず Day1 を 1 週間以上延期 または Day8 を 2 クール連続で中止した場合	20mg/m <sup>2</sup> に減量
T-Bil	2.1~3.0 mg/dL	50%に減量
	> 3.0mg/dL	25%に減量

## 【投与基準】

※ロゼウス添付文書より

項目	基準値及び症状
白血球	≥ 2000/μL

## 【特に注意すべき副作用と対策】

白血球減少、好中球減少・・・症状に応じ、内服もしくは点滴静注にて抗生剤の投与、G-CSF 製剤の使用を考慮  
(FN 診療ガイドライン、G-CSF 製剤使用についてのガイドラインに準じ対応)  
ヘモグロビン減少・・・症状に応じ、輸血を考慮(血液製剤の使用指針に準じ対応)  
血小板減少・・・症状に応じ、輸血を考慮(血小板輸血に関してのガイドラインに準じ対応)  
消化器障害・・・悪心嘔吐には 5HT<sub>3</sub> 拮抗薬の処方追加検討。下痢には高用量ロペラミド療法検討  
血管痛、静脈炎・・・ロゼウス投与後は十分な輸液で血管内を洗い流す(投与中の注射部位周囲の加温も検討)  
※当院作成の【外来化学療法施行患者における緊急時対応マニュアル】を参照すること